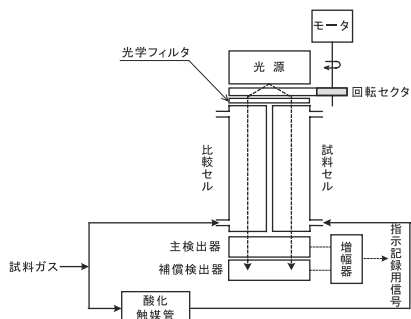


## NDIR分析計の構成例



## NDIR分析計の作動性能

項目	作動性能
ゼロドリフト	最大目盛値の±2%以内
スパンドリフト	最大目盛値の±2%以内
繰返し性	最大目盛値の±2%以内
指示誤差	最大目盛値の±2%以内
90%応答時間	120秒以下
感度	トルエン、酢酸エチル、メチルエチルケトン、2-プロパノール、ジクロロメタン及びビクロロベンゼンに対して90%以上
無機体炭素の影響	最大目盛値の±6%以内

## 2. VOC測定方法の基本的考え方

### (2) 試料採取方法

## 排出ガスの採取方法について

VOCの多くは可燃性であり、排出ガス中のVOC濃度は発火点を超えるものもある。

排出ガスを捕集バッグで採取し、捕集バッグ内の試料ガスを別の場所で分析することが適当である。

## 捕集バッグ材質・試料採取時間等

- ○捕集バッグの材質
  - ・ ふっ素樹脂フィルム製
  - ・ ポリエステル樹脂フィルム製

○試料採取時間 20分

○分析までの時間 原則8時間以内

(8時間以内の分析が困難な場合であっても24時間以内)

## その他留意事項

### 1. 希釈測定

分析計の測定レンジを超える場合は、試料を希釈して測定する。

### 2. 湿りガス濃度

排出ガス中の水分濃度は一般に低い  
ため、水分測定は行わず、湿りガスにおける濃度をVOCの濃度とする。

## 2. VOC測定方法の基本的考え方

### (3) 除外物質

#### 除外物質の選定について

除外物質：メタンと同等以下の光化学反応性を有するもの

あえて除外する必要はないと考えられる物質

- ・ VOC年間排出量に占める割合が極めて少ない物質(0.01%以下)
- ・ 生産中止になっている物質

、当該物質を生産する事業者等から、当該物質の光化学反応性や測定方法に係る情報の提供を受けて、適宜、除外物質の追加の是非を検討することが適当である。(注)メタンと同等以下の光化学反応性を有する新たに開発される物質等について

#### 光化学反応性の評価方法

##### エアロゾル生成能

エアロゾル収率(Aerosol Yields)  
エアロゾル生成係数(FAC)

##### オキシダント生成能

OH尺度(OH Scale)  
最大増加反応性(MIR)  
光化学的オゾン生成能(POCP)

#### 除外物質

SPM及びオキシダントの生成の原因とならない物質としてVOCの定義から除外する物質(8物質)

メタン

HCFC-22      HCFC-124

HCFC-141b    HCFC-142b

HCFC-225ca   HCFC-225cb

HFC-43-10mee

#### 除外物質の補正方法について

1. VOC排出施設において除外物質を使用し、又は発生させている場合

(測定)

排出ガス中のVOCの濃度 - 除外物質の濃度

2. VOC排出施設でメタンを使用し、又は発生させていない場合

VOCの濃度 - 2ppmC

3. NDIR又はFIDで測定したVOC濃度が排出基準値以下の場合、除外物質の測定をする必要はない。

## 3. VOC測定の手順